

2023年9月4日、月1回のリハビリテーション科全体ミーティングで、『疼痛』と『一次救命』について勉強会をおこないました。

まず、『疼痛』は岩崎副主任より、疼痛の定義と種類、心理社会的因子と脊柱疾患におけるBio-Psycho-Social(BPS)モデルに基づいた疼痛評価、および慢性腰痛における介入の考え方について説明がありました。参加者からは、「疾患が完治した後でも生じる痛みについても学べたので、治療の幅が広がりました」、「様々な原因が疼痛に関与しているため、寄り添って介入していく大切さを学ぶことができました」といった感想がありました。

つぎに、『一次救命』は浪越副主任・松原副主任・島地 PT が一次救命処置(BLS)の傷病者発見から心肺蘇生法の流れについて説明がありました。参加者からは、「命を救うために勇気ある行動をしていきたい」、「今までは街中などで心肺蘇生が必要な方を発見した時にパニックになっていたと思うが、今回の勉強会で心肺蘇生の流れを再確認できたので少しは冷静に対応できるようになったと思う」といった感想がありました。

当院では、疼痛の原因をしっかりと把握してリハビリテーションを行うように取り組んでいます。また、医療従事者として、一次救命処置は全員ができるべきと考えております。

今後も、リハビリテーション科は、患者様へ提供するリハビリテーションの質を向上させるために、様々な取り組みをおこなってまいります。

(文責 岩崎 裕斗、下野 敏之、松原 慎)

【勉強会風景】

